



新春に寄せて

理事長 佐々木 克久

新年明けましておめでとうございます。平素より入所者に対しあたたかく見守って頂き感謝いたしております。

さて、盲老人ホーム権現荘は開設して本年5月1日で49年になります。ここ最近では施設全体が老朽化して、こちらを修繕すればあちらもという状況です。その上施設が建っている土地は、松山市の土砂災害警戒区域に指定されていますので現在地での再建は不可能です。そのため、数年前より移転建て替えを模索しており建設のためまず土地探しから始める事に致しました。

現在、平田町に土地があり理事会の承認を得て地主さんと合意も得て取得に必要な手続きを進めています。すべてが予定通り進めば令和4年5月～6月ごろ完成～入居となる予定です。

入所者の老後を快適で豊かに幸せに暮らせるよう職員一同努力していきます。最後になりましたが、皆様方が本年も佳き年でありますようご祈念申し上げます。

令和2年10月・11月・12月のあゆみ

★ 誕生日会

今月もご馳走を食べ誕生日会・演芸会を行いました！！



★ 焼き芋店

ホクホクの焼き芋は大きくて甘かった！



★ 中島中学校 みかんの贈呈

毎年甘くておいしいみかんありがとうございます！！おいしく頂きました！





魚の寄贈

愛媛県魚類養殖協議会からぶりの寄贈がありました。

新鮮で刺身が最高でした！！



クリスマスの集い

イントロクイズ、くじ引き大会があり楽しく盛り上がりました！！





10月・11月・12月の誕生者おめでとう



★ 福島 義衡さん 昭和10年10月1日生れ 85歳



★ 赤松 カ子コさん 昭和5年10月15日生れ 90歳



★ 石川 三郎さん 昭和3年10月25日生れ 92歳
お祝いしてもらってありがとうございます。
元気で過ごしています。
これからもよろしくお願いします。



★ 城戸 正延さん 昭和29年11月25日生れ 66歳
これからもよろしくお願いします。



★ 大本 一郎さん 昭和17年12月7日生れ 78歳
人生百年時代といえます。ただ年数を重ねるだけでは面白くない。たとえば私にかぎらず百才を生きたいとしても今まで生きた数年より短い。それなら今できることをしておこう。



★ 松下 朝美さん 昭和7年12月10日生れ 88歳



★ 中川 宗一さん 昭和27年12月23日生れ 68歳
これからも元気で過ごしたいと思いますのでよろしく
お願いします。



みちのり



加納 幹夫さん 令和2年10月29日入所 西条市
家内が亡くなって独り身になってここへ来ました。
ええとこへ来て良かったと喜んでます。
これから残りの人生、1日でも長く皆さんと良い環境で
元気に過ごしていきたいです。



村上 浩一さん 令和2年12月14日入所 今治市
私はおしゃべりも下手で学びもないので言える事は
ありません。
これから、こちらでお世話になります。
よろしくお願いします。



令和3年1月・2月・3月の主な行事

- 1月 初釜の茶会と新年会 七草粥 たこ焼店
- 2月 節分豆まき 大判焼き
- 3月 お墓参り 彼岸法要 たこ焼店

※行事はあくまでも予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し変更になる場合があります。

お知らせ

- *今期（10月～12月）の苦情受付件数は、0件でした。
- *権現荘だよりに掲載しております写真・及び入所者の方のお言葉は、実際にお話しされた事をご本人の承諾の上掲載しております。



ベストショット



(おわりに)

表紙のご挨拶で理事長がお伝えしました通り、権現荘におきましては昨年より移転建て替えの準備を進めて参りました。大きな理由と致しましては、施設の老朽化と土砂災害警戒区域からの脱出の2つですが、それに関連する諸問題はたくさん抱えており、その最たるものは階段を含むハード面での整備の必要性とプライバシーの確保でした。このことも踏まえ、現在計画をしております建物は平屋での建築、全室個室を予定しております。もちろんハード面だけ変わって全ての問題がクリアするとは思っておりません。設備が変わるに伴い職員の意識・必要なソフト面も改革も進め、全ての面において視覚障がい高齢者にやさしい施設を目指していきたいと思っております。

最後になりますが、今回の移転建て替えの計画において、一番の問題は資金繰りでした。もちろん自己資金だけで賄えるものではありませんが、利用できる補助制度が見つからず、大部分を借入りに頼ることになっているのが現状です。施設が新しくなるのはとても喜ばしいことではありますが、これから先の運営・経営を考えますと厳しい状態であるのは間違いありません。

しかし、我々は前を向いて進むしかありません。入所者の皆さんのため、職員一同いっそうの努力をしまりますので「盲養護老人ホーム」の必要性をご理解頂き、多くの皆様にご支援・ご援助などを頂ければ幸いに存じます。

(生活相談員)